

バングラデシュ 2019年11月 外来棟テストオープン

第28期 中間報告
2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

JAPAN-EASTWEST MEDICAL COLLEGE & SPECIALIZED HOSPITAL

証券コード：3360

マネジメントメッセージ



代表取締役会長 CEO

古川 國久



代表取締役社長 COO

小川 宏隆

■ グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

■ 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

■ 2019年 スローガン

超 ・ 念 ・ 転

『進化』と『成長』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、持続的な成長を目指し、中期経営計画『SHIP VISION 2020』に取り組んでおります。当期は、同計画の2年度目に当たり、最終年度となる2020年度の連結売上高5,000億円の達成に向けて、これまで成長してきた既存四事業を基に諸施策を進めるとともに、第5の柱であるヘルスケアサービス事業を立ち上げるなど、新たな取り組みも開始しております。『SHIP VISION 2020』の達成を通じて、既存事業の安定、且つ高成長を実現すると同時に、その先の長期目標達成への事業基盤強化と事業領域拡張の基礎固めを行ってまいります。

現在、当社グループが事業を展開しております医療・介護関連業界は、少子高齢化に伴う制度改革、医療費抑制政策などにより、地域の医療・介護施設同士の連携、地域全体の最適化など、次のステージに向けて激動しております。一方、当業界にも、ICT、AIを活用したデジタルトランスフォーメーションは浸透してきており、これらの分野に強みを持つ異業種からの参入も活発になってきております。このような状況下において、変化する環境を先取りし、新しい技術・サービスとこれまでのノウハウ・専門性を統合するプロデュース能力がより一層求められております。

当社グループは、医療機関に対する経営コンサルティング、大型医療機器の提供から、注射器一本の販売まで、医療機関の求めるあらゆるニーズを解決するため、少しずつバリューを拡大し、結果として、多くの新しいノウハウや新しい事業領域を獲得してまいりました。その進化形が今、第五の事業であるヘルスケアサービス事業として、花開こうとしております。激動する経営環境において、これからも時代の“旬”となる領域を追い求め、拡大する事業・グループ会社を「SHIP」の理念のもとに糾合し、連結売上高1兆円の企業集団を目指してまいります。

専門性の深化と事業領域の拡張

業績について

売上高、利益とも期初計画を上回る

当第2四半期の状況といたしましては、トータルパックプロデュース事業（TPP）において、一部案件の前倒し計上、メディカルサプライ事業（MSP）における新規SPD施設の受託などが業績を牽引いたしました。また、TPP事業、MSP事業全般において、消費税増税前の駆け込み需要が見受けられ、売上高は前年同期比19.8%増の2,422億円を達成いたしました。収益面においても、海外における病院運営事業や大阪重粒子線センターなどの立ち上げに関する初期費用を計上いたしました。MSP事業における運営効率化、調剤薬局事業（PH）における経営効率化なども寄与し、営業利益が前年同期比60.9%増、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比67.6%増となりました。このような状況下、中期経営計画に全力で取り組み、通期の目標達成を目指してまいります。

業績結果

(単位：百万円)

	期初予想 (2019年5月10日発表)	2019/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	210,000	242,232	15.3%
営業利益	6,500	10,081	55.1%
経常利益	7,000	10,999	57.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,000	6,693	67.3%

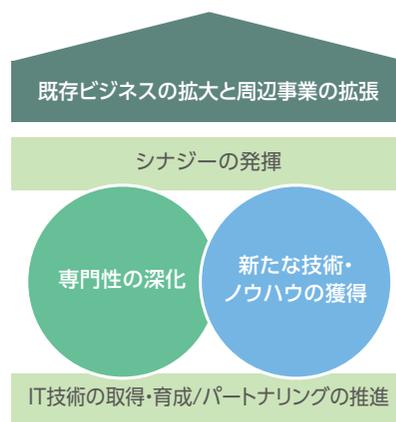
事業基盤の強化と拡張

周辺事業の拡張とグループシナジーの発揮

少子高齢化に伴う制度改革や地域医療連携、IT技術の浸透などにより、当社グループの事業環境は、大きく変化しております。この変化は、新たな事業機会を生み出すと同時に、生き残りをかけた非常に厳しい競争環境をもたらしております。こうした中で、長期的な成長を実現していくには、時代に即した新たなサービス提供と各分野における競争優位性の確保・強化が重要となります。当社グループは、これらの視点から、新たなビジネスに必要となるノウハウ・技術を持つ会社をグループに迎え入れると同時に、異業種などとの協働も進め、事業領域の拡張と競争優位性を強化してまいります。

当社グループは、医療・介護の地域構想が進む中、各セグメントが一体となったサービス提供に向けて、グループシナジーを活用した取り組みを進めてまいります。また、それぞれのセグメントにおいても、競争力強化に向けて、情報、ノウハウ・システムの共有、方向性の統一など、連携・機能強化を図る諸施策を展開してまいります。

成長フレーム



中期経営計画『SHIP VISION 2020』の進捗

各セグメントで取り組みを加速

2018年3月に外来診療を開始した大阪重粒子線センターは、2019年10月に最後の第3室目が稼働しております。当社グループの海外病院建設・運営の第1弾にあたるバングラデシュプロジェクトも、本年11月にテストオープンいたしました(※表紙写真)。『SHIP VISION 2020』で第5の柱として育成を図るヘルスケアサービス事業(HS)は、この他、海外事業も含め、多くの新事業への芽を育てております。また、TPP事業では、メーカー系の構造改革を進めるとともに、グループ会社の連携により、新たなビジネス領域の開拓を始めております。MSP事業では、商品マスターの統一、物流センターの整備などの事業基盤の強化とともに、小西医療器株式会社(帝人株式会社及び北野病院と連携)、RFID技術を活用した最先端の医療物流管理システムの本格運用を開始いたしました。また、これからの事業を支えるIT分野につきましては、産学連携のベンチャー企業に投資するなど、グループ内のIT関連会社も巻き込み、増殖を図ってまいります。このように、当社グループは、各セグメント及び経営基盤において、新たな取り組みを加速しております。

セグメント別取り組み

トータルパックプロデュース事業	メーカー系の構造改革を継続するとともに、IT関連への投資を進める
メディカルサプライ事業	セグメント内の協働を強化すると同時に、面の拡大を進める
ライフケア事業	高稼働率を維持しながら、全国一体経営を進める
調剤薬局事業	経営環境が厳しい中、非保険領域を中心に収益力強化を進める
ヘルスケアサービス事業	既に立ち上がったサービスの運営強化と新たなサービスの育成を進める

トピックス

日本初! ICタグにより病院の物流情報を一括管理
医療物流管理システムの開発と本格運用

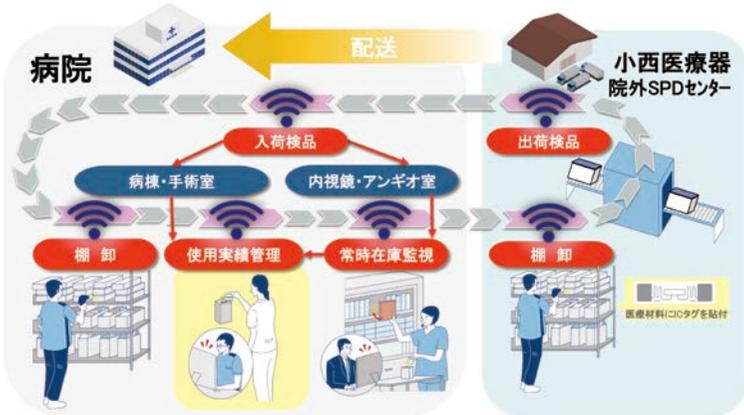
RFID物流管理システムを北野病院に導入



近年、医療現場では患者さんからの様々なニーズが増える一方、人手不足は深刻化し、「高生産性・高付加価値」構造への転換が喫緊の課題となっております。大阪市北区に位置する北野病院では、「トレーサビリティの確立・安全性の向上・コスト管理」をキーワードに、院内の状況改善を検討しておられました。こうした中、SPDシステムに多くの実績と高度なノウハウを持つ小西医療器株式会社とRFIDシステムを複数の医療機関で展開している帝人株式会社が、両社の技術・ノウハウを融合させ、日本初となるICタグを用いた医療現場と物流とをつなぐRFID物流管理 (SPD) システム*を北野病院に導入いたしました。今後は、北野病院での業務改善効果を実証し、さらに運用の最適化を図りながら、新システムの導入の価値最大化を目指してまいります。

* SPDシステム: 医療現場の消耗品管理を柔軟かつ円滑に行うための専用物流システム

院外SPDセンター～医療現場の使用迄をICタグで一元情報管理



導入のメリット

ICタグを貼付することで、物流業務の一括管理が可能

人手による発注業務の大幅な削減が可能

医療材料のトレーサビリティと患者ごとの原価管理が可能

ヘルスケア産業の変革をテーマとした
大阪ソリューションセンター構想が始動

最新鋭物流センターの工事に着手

当社グループは、地盤とする関西圏での競争力強化に向けて、メディカルサプライ事業での新しい物流拠点構想を始動させております。小西医療器株式会社が中核となり推進するこの大阪ソリューションセンターは、RFID・無人搬送車 (AGV) など最新ITを活用し、入荷から搬送まで一貫した自動化倉庫として計画されており、2020年度の稼働を目指しております。同センターの稼働により、当社グループは、これまで以上に、医療材料供給の安全性の向上と効率化を進めてまいります。また、同センターは、ロジスティクス機能のみにとられず、ヘルスケア産業全体の改革を促すソリューションセンターとしての機能構築を目指しており、モノの移動・消費などをサイバー空間 (情報) とフィジカル空間 (物流) で共有する基盤 (プラットフォーム) としての将来構想を進めてまいります。



大阪ソリューションセンター完成イメージ

グループ力を活用した
新たなシナジーの発揮

「人的警備」と「建物管理」で、
顧客ニーズに応える安全・安心を提供

持続的な成長を実現していくためには、市場から求められる一体的なサービス提供が重要となっております。当社グループは、既存事業と関連する領域で事業を営む企業をグループに迎え入れ、お互いにシナジーを発揮することにより、提供できるサービスの幅を広げてまいります。2016年8月に人的警備を主業務とする日本パナユーズ株式会社をグループ化しておりましたが、この度、建物総合管理事業を営む株式会社日本ネットワークサービスをグループに迎え入れました。同社は、商業ビル、病院、百貨店、ホテル、マンションなどの建物管理業で多くの実績を保持しております。この両社による協働を進めることで、病院や介護・福祉施設への安心・安全の一体提供を可能にし、サービスの付加価値向上を目指してまいります。



会社名：日本パナユーズ株式会社
創業：1971年4月
事業内容：警備業・人材派遣業

人的警備



建物管理



会社名：株式会社
日本ネットワークサービス
創業：1991年8月
事業内容：建物総合管理業

バングラデシュ 病院建設・運営プロジェクト
2019年11月 外来棟テストオープン

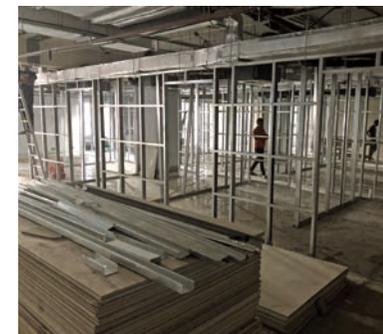
2020年度のグランドオープンに向けて、最終段階に入る

2016年2月に調印し、バングラデシュの医療向上への貢献を目指す病院建設・運営プロジェクトが最終段階を迎えております。建設工事は、ほぼ外観が完成し、内部の仕上げ工事を進めると同時に、医療機器の搬入にも取りかかっております。こうした中、2020年度のグランドオープンに向けて、2019年11月より、既存棟外来での診察、入院患者の受け入れを開始し、テストオペレーションを始めております。現在は、このテストオペレーションを基に人員の教育、運営体制・制度等の検証を行うとともに、グランドオープンに向けて、現地社員の採用を本格化させております。

当社グループは、本事業の他にも、ミャンマーをはじめとして海外での取り組みを推進し、海外での事業拡大を目指してまいります。



ほぼ完成した外観



内部の仕上げ工事



医療機器の搬入

障がい者B型就労支援・雇用のサポート

グリーンファーム守口が運営する水耕栽培の輪が広がっています。



介護事業を行うグリーンライフ株式会社が営むグリーンライフ守口では、2019年8月よりB型就労支援をサポートする事業の運営を開始しております。同事業は、大阪府初の水耕栽培を通じた就労支援事業であり、育成から消費までの一貫した野菜作りの体験を通して、仕事に対するやりがいを感じていただき、就労へのサポートをしていくものです。既に10名の方がこの施設を経験し、仕事につかれています。また、介護施設の入居者の中にも興味を持ち参加している方も見られ、水耕栽培の輪が広がっています。当社グループは、このような活動を通じて、社会との連携を強化してまいります。



水耕栽培施設内観



守口ボランティアフェアでの販売会

グループでのブランディング活動を推進

グループの結束を高め、ヘルスケアの未来を創造していきます。

2019年9月末現在、当社グループは、50社にのぼる企業集団に至っております。当社グループのグループ経営の基本は、「自立自主」にあります。SHIPの理念のもとに価値観を共有し、役職員全員が楽しく、やりがいをもって働き、社会に貢献していくことを目指しています。このために、理念教育を徹



底するとともに、グループ全体や各セグメントにおいて、ブランディング活動を積極的に展開しております。

↑
日本赤十字社
「いのちのバスプロジェクト」
に協賛
日本赤十字社×
シッパヘルスケアグループ×
ガンバ大阪 コラボポスター



HELLO KITTY ©1976, 2019 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G603356

↑
ガンバ大阪
ダイヤモンドパートナー契約
を更新
ゴール裏大型ビジョン演出広告

←
グリーンライフ株式会社と
株式会社サンリオとの取り組み
グリーンライフ仙台での
ハローキティ イベントの様子

株主アンケート集計結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。

第27期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、436名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2019年8月20日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

□ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



□ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



□ その他様々なお意見の一部

- 超長期的成長のための積極的投資を。
- 時代を先取りするような企業になってほしい。
- バングラデシュでの事業に期待しています。
- 外国人技能実習生が日本を嫌いにならないよう大事に育ててください。
- 長期保有優遇制度の優待を導入してください。
- 次期も増配を期待!

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシッパヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

業績の概要

■ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

	2017/3	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9 当第2四半期	2020/3 (通期予想)
売上高	408,487	425,566	202,146	444,048	242,232	466,000
営業利益	16,055	18,259	6,265	17,952	10,081	18,500
経常利益	16,478	18,935	6,603	18,532	10,999	19,300
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	9,410	10,350	3,994	11,236	6,693	11,800
総資産	263,456	285,181	257,539	299,212	304,572	—
純資産	93,632	102,354	101,112	97,734	102,101	—

■ セグメント情報 (2019年4月1日～2019年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大型プロジェクト案件が上期中に計画を上回って計上されたことに加え、その他のプロジェクトや更新機器の買い替えにおいて、消費税増税前の駆け込み需要がありました。

この結果、売上高は53,857百万円(前年同四半期連結累計期間比42.7%増)、セグメント利益(営業利益)は5,406百万円(前年同四半期連結累計期間比102.7%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、トータルパックプロデュース事業との連携や、新規SPD施設の受託及びSPD施設運営の効率化等により堅調に推移するとともに、消費税増税前の消耗品の前倒し購入

需要がありました。

この結果、売上高は160,607百万円(前年同四半期連結累計期間比16.8%増)、セグメント利益(営業利益)は2,455百万円(前年同四半期連結累計期間比43.3%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、前期に引き続き、全国一体経営及び入居促進策等に努めた結果、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,860百万円(前年同四半期連結累計期間比0.1%減)、セグメント利益(営業利益)は892百万円(前年同四半期連結累計期間比3.7%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の出店や共同仕入れ等の経営効率化により、業績は堅調に推移いたしました。

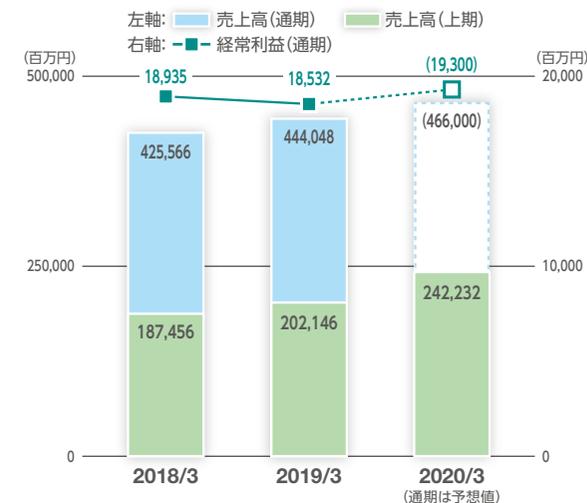
この結果、売上高は13,380百万円(前年同四半期連結累計期間比8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は1,280百万円(前年同四半期連結累計期間比34.4%増)となりました。

その他

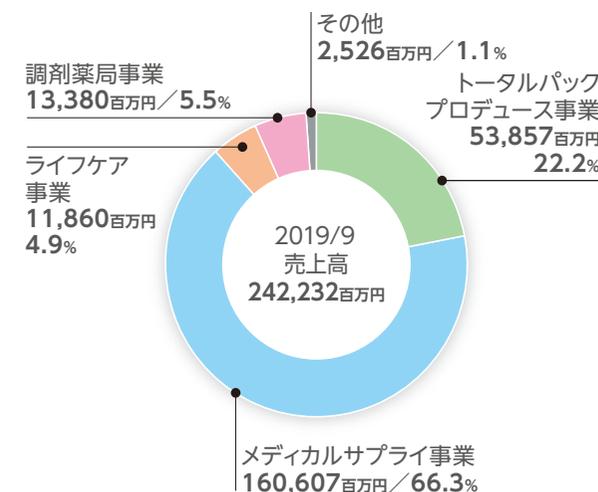
その他におきましては、動物病院の運営及びセキュリティサポート会社の業績は計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は2,526百万円(前年同四半期連結累計期間比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は194百万円(前年同四半期連結累計期間比23.1%減)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比 (2019/9)



会社情報

(2019年9月30日現在)

会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 CEO 古川 國久
 代表取締役社長 COO 小川 宏隆
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 6,237名(正社員) 11,496名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130
 FAX: 06-6369-3191

役員

代表取締役会長 CEO	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長 COO	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 浩太
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	小林 宏行
専務取締役	横山 裕司
取締役	和泉 泰雄
取締役	増田 順
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
常勤監査役	細川 賢治
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
監査役(社外)	中山 秀光
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	大内 陽一郎

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>



株式関連情報

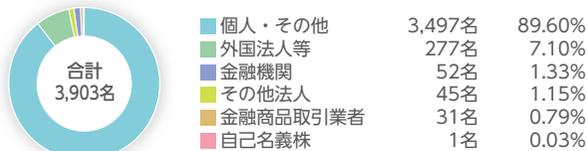
(2019年9月30日現在)

株式の状況

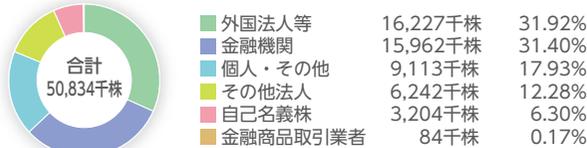
発行可能株式総数.....64,000千株
 発行済株式総数.....50,834千株
 株主数.....3,903名

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



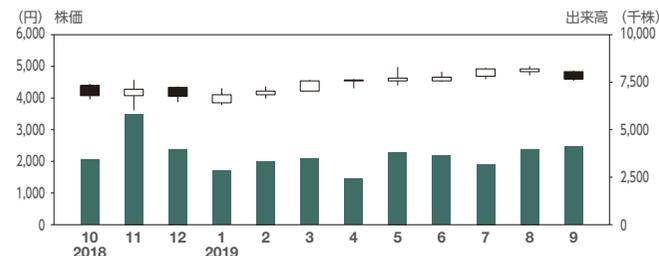
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,390千株	9.22%
株式会社コッコー	3,988千株	8.37%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,792千株	7.96%
春日興産合同会社	1,400千株	2.94%
古川 國久	1,236千株	2.60%
古川 幸一郎	1,230千株	2.58%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,156千株	2.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,130千株	2.37%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.20%
小西 賢三	796千株	1.67%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株価・出来高の推移



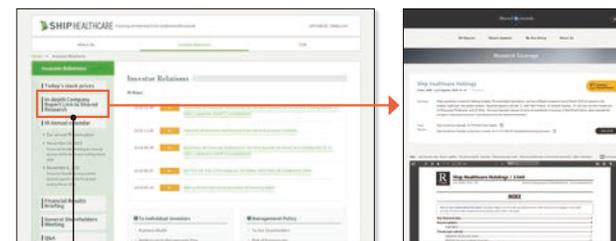
株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日 毎年6月中
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 及び特別口座の口座管理機関 2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を変更しております。なお、株主名簿管理人については変更ございません。
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告によりおこなう
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページを開設しました。 <https://www.shiphd.co.jp/en/>



In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check <https://sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.